能登半島地震から４週間　被災地では

水も食料も 足りず 底冷え

屋根もつぶれ、中に入れないほどの住宅被害も…

自民党裏金
スクープを最初に報道！

しんぶん赤旗
申し込みは
こちら

断水解消せずトイレ使えない 避難所では3食まともにない ビニールハウスでの生活続く

石川県3市3町では、21日時点で約4万8千戸が地震の影響で断水してます。トイレが使えない、洗濯できないなど衛生上の深刻な状況や、「体育館の冷たい床で寝ている」などの声がだされています。

食事が今だに3食きちんと提供されていない、アレルギーなどの配慮や離乳食も提供されていないことがあるとの声もあります。

ビニールハウスで近所の7世帯ですごしており、医療関係者の健康チェックはないと言います。

女性など プライバシー守れず

「間切りがなく着替えができない」「トイレは男女兼用で夜は照明も少なく怖くて使えず我慢して体調を壊す」という避難所での女性の切実な声があります。また、オムツを付ける高齢者が「恥ずかしく行きたくない」「簡易トイレを和式でなく洋式を」との声もあがっています。

日本共産党が求める 二次避難所「食」改善を

日本共産党の小池晃書記局長は1月23日、食生活の改善を政府に要請しました。

小池氏の要請

- ●災害救助法に基づく食事提供の一般基準(1人1230円)の引き上げ
- ●「東日本大震災では1500円に引き上げた」と指摘し、今回は物価高騰で食材費に影響が出ていることにも対応を求める

内閣府担当者

○「要望があれば事前に協議したうえで必要な支援をしていく」

日本共産党が求める 防災・復興ガイドライン 国が主導して

日本共産党の井上哲士議員は1月24日の参院予算委員会で、自身が被害状況を調査した避難所での声を紹介し、切実な要望を求めました。

井上参議員の要望

- ●内閣付の「男女共同参画からの防災・復興ガイドライン」は「男女別の更衣室設置や男女トイレを離して設置し、女性用を多くする」としているが、全国で災害対策部門の職員に女性がいない市町村が6割あり、徹底していない
- ●運営側が男性ばかりだと女性からは声をあげにくい。国が主導して現場で改善をすすめるべき

岸田首相の答弁

○「ガイドラインを徹底し、女性の待遇改善につながるよう務めたい」

自民党裏金 ➡ 日本共産党 企業・団体献金の禁止を

軍事費増して増税 ➡ 経済再生プラン への転換を

自民党の裏金問題は派閥解散では解決できず、真相の解明が必要です。裏金の全容を明らかにせず、「事務的ミスの積み重ね」などのごまかしや、小手先の場当たり的な対応で済まそうとする自民党の姿勢は許されません。

日本共産党は今国会で「企業・団体献金全面禁止法案」「政党助成法禁止法案」を提出しました。パーティー券を含む、企業・団体献金を禁止することで金権腐敗の根を絶つ法改正を実現しましょう。

24年度予算案では7兆9496億円もの軍事費を計上。殺傷武器の輸出解禁にも踏み込みだしました。一方、ケア労働者の賃金は2.5%のベースアップのみ。これでは物価高騰にも全く追いつきません。

自民党政治を終わらせ、消費税減税、内部留保による賃上げパッケージ政策の実現、ケア労働者の処遇改善など「経済再生プラン」の実現こそ希望の道です。

>>>

企業・団体献金全面禁止法

「経済再生プラン」

自民党政治を 終わらせよう！

比例は日本共産党

志位和夫 衆議院議員　はたの君枝 前衆議院議員　さいとう和子 元衆議院議員

革新のひろば

2024年2月号外　日本共産党の見解を紹介します
発行：日本共産党神奈川県委員会
住所：横浜市神奈川区西神奈川1－18－12
電話：045－432－2101　FAX:045－432－2103

●毎日の日刊紙は3497円/月
電子版も発行しています
●毎週1回の日曜版は930円/月
●神奈川のことなら「新かながわ」月発行400円/月